

〔例題 1〕施設養護に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 児童福祉施設には、入所している児童からの苦情を受け付ける窓口の設置義務はあるが、保護者等からの苦情を受け付ける窓口の設置義務はない。
2. 児童福祉施設の職員は入所中の児童に対して虐待など心身に有害な影響を与える行為をしてはならないと定めているのは、児童福祉法である。
3. 児童養護施設等では児童相談所の処遇指針に基づき、一人一人に具体的な援助内容を記載した子ども・子育て応援プランを作成しなければならない。
4. 児童養護施設における家庭環境の調整は、児童の家庭の状況に応じ、親子関係の再構築等が図られるように行わなければならない。
5. 児童養護施設入所児童には生活指導的援助のみが必要とされる。

〔正答 4〕

〔例題 2〕子どもの造形活動と遊びに関する次の記述のうち最も妥当なのはどれか。

1. 造形活動を発展させるためには、遊びの充実以前に技術的な援助をしていくことが重要であり、そうすることにより創造性がより豊かになる。
2. 造形活動を発展させるためには、まず子どもの自発的な遊びを活発にすることが大切であるので、援助はできるだけ控える方がよい。
3. 造形活動を活発にするためには、見立て遊びやつもり遊びのなかにその芽を見逃さず、援助することが大切である。
4. 造形活動を活発にするためには、遊びにおいても子ども同士が相互に完成した作品のイメージを共有できるよう援助することが大切である。
5. 造形活動と遊びはその目的が異なり、例えば砂場で山や団子を作るといった活動は、遊びとして発展させていくよう援助することが大切である。

〔正答 3〕

〔例題3〕 DSM-IV-TRにおけるアスペルガー障害に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 女児だけに見られ、手もみ行動が生じる。
2. 幼児期に発症し、言葉の消失と発達の後退を示す。
3. 幼児期の言語発達の遅れは見られない。
4. 衝動的なトラブルは少ないものの、対人関係は良好で友人を作るのに苦勞はない。
5. アスペルガー障害の多くが軽度の知的障害をもつとされている。

〔正答3〕